

松葉屋通信

matubaya
-tushin
vol.09
2008.10.28

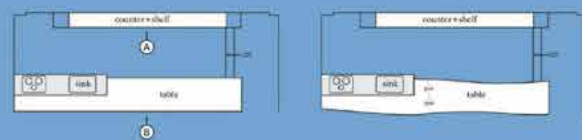
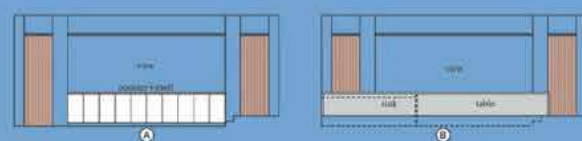
発行 ■ 松葉屋家具店
026-232-2346

最初のプラン出しからおよそ1年、いよいよ完成した軽井沢の別荘をご紹介します。
森の中にいた頃の記憶を呼び起こすような、6メートルの桁のテーブルが大きな空間の中に、
その存在を現わしました。



Karuizawa Villa
軽井沢別荘

長大な桁の木目が続くテーブル。
オリジナルで製作したゆったり椅子と。



- 1 テーブルなど木部の色及び木目の深さを見本です。チョコレート・きなり色は、赤・鉄色・黒竹色・黒色・深黒色など。さまざまな色と調和し、また彫刻によるゆかりも和やかに馴染みます。
- 2 森に佇む木の姿を想像できる、無垢の一枚板テーブル。自然なカーブが、その前にすわる人に寄り添います。
- 3 やはり色見本。微妙な色合いは、彫刻によって表現することもできます。
- 4 シンプルキッチン見本。木の質感を際立たせることと、使いやすさのこと。オープンスペースには、必要に応じてワゴンなどが使えます。お掃除のしやすさも良い点です。



■ パンツァーナー





ダイニングテーブル
+
チェア

テーブルに続くキッチン

テレビボード
+
ワイドな収納棚

ウォルナット+本革
ゆったりサイズのオリジナルチェア



TEAM
MATSUBAYA
今川 隆夫 / 松葉屋 代表
仕事を通じてお会いした方へ



A ■ 松葉屋を代表する職人(松葉屋)が、職人から職人へ伝えている「職人魂」を、お会いした方へお伝えしています。B ■ 松葉屋の職人(松葉屋)が、職人から職人へ伝えている「職人魂」を、お会いした方へお伝えしています。C ■ 松葉屋の職人(松葉屋)が、職人から職人へ伝えている「職人魂」を、お会いした方へお伝えしています。D ■ 松葉屋の職人(松葉屋)が、職人から職人へ伝えている「職人魂」を、お会いした方へお伝えしています。E ■ 松葉屋の職人(松葉屋)が、職人から職人へ伝えている「職人魂」を、お会いした方へお伝えしています。F ■ 松葉屋の職人(松葉屋)が、職人から職人へ伝えている「職人魂」を、お会いした方へお伝えしています。G ■ 松葉屋の職人(松葉屋)が、職人から職人へ伝えている「職人魂」を、お会いした方へお伝えしています。

長野県信濃美術館
美しい木の椅子展

9月20日~11月16日



美しい木の椅子展

長野県信濃美術館
開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30)
休館日 水曜日

長野県信濃美術館

開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30)
休館日 水曜日

「生活に密着した身近な美術品」椅子、そのなかでも水で作られていることを柱として、世界のデザイナーによる100脚の「暮らしの中の木の椅子」展入選作品100脚にすわる。森のくに信州の椅子20脚。日本のデザイナーによる10脚の4部構成で開催された展覧会です。

善光寺近くの、信濃美術館で9月20日より開催された「美しい木の椅子展」。監修は、善五郎塾師の島崎信先生(武蔵野美術大学名誉教授)と織田憲嗣先生(東海大学芸術工学部からデザイン学科教授)です。この展覧会の開催記念講演で島崎先生との対談のために来賓された織田先生が、(ナント!)松葉屋にお立ち寄りになりました。

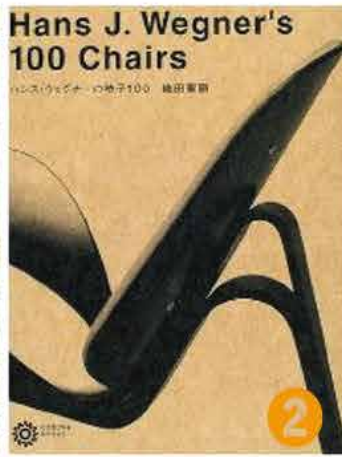
店主、善五郎が学生のころより憧れていた織田憲嗣(おだのりつぐ)先生は、近代の椅子研究の第一人者。また、うつくしいイラストレーションや写真によって、分かりやすくそれらを紹介してくれる表現者でもあります。そんな織田先生とお話する機会を得られ、しあわせいっぱいの一コマがコテラです。

織田憲嗣先生、
松葉屋に来たる!





Danish Chairs
 デンマークの椅子—椅子は最も人間的な道具である(ワールド・ムック)
 織田憲嗣 著
 ¥ 2,600
 ペーパーバック224ページ
 ワールドフォトプレス (2006/09)
 28.6 x 21 x 1.4 cm



Hans J. Wegner's 100 Chairs
 ハンス・ウェグナーの椅子100 織田憲嗣
 織田憲嗣 著
 ¥ 2,520
 単行本198ページ
 平凡社 (2002/10)
 21.6 x 16.6 x 1.6 cm



美しい椅子 1~5
 (文庫)
 島崎信+東京・生活デザインミュージアム 著
 ¥ 715
 文庫 171ページ
 樫出版社 (2003/11~2005/05)
 14.6 x 10.4 x 1 cm

Matubaya Book Shelf

椅子の本

前頁より続きまして、椅子に関する本の中から、松葉屋オススの3冊をご紹介します。

① Danish Chairs としては3冊め本です。こちらは学生でも購入可能な価格で、との意向によりペーパーバックで出版されました。デンマークの代表的な椅子デザイナー64名の170作品を紹介していますが、その写真、イラストレーション、レイアウトの美しさは比類なきもの。とにかくおすすめの一冊です。② 日本でもファンの多いデザイナー、ハンス・ウェグナーがまるごとわかる一冊。おなじみのYチェアから、あまり、というか見たことのない作品まで楽しめます。③ 織田先生も「椅子の世界に導いてくれた師」と敬い、また多くの仕事をともにする島崎信先生の本です。この本の魅力は、なんといっても名作を文庫で持ち歩けるところ、好きな時に好きなところで美しいものを見ることができ、またデザイナーごとに掘り下げられた興味深い文章を楽しむことができます。

**名作に続いて
名作椅子は生まれる**



名作に続いて名作椅子は生まれる

織田先生が以前インテリア雑誌に発表された論文です。残念ながら雑誌は休刊となってしまいました。こちらはコピーですが、ご希望の方には差し上げております。下記まで↓お問い合わせください。

**10月11日土曜日
秋の夜、
今年も松葉屋に
『カントジファ』が
響きました。**



ポルトガル語で「街角」を意味する「カントジファ」。いつもどこかの街角で音を奏でたいという想いをユニット名にした、Steelpan/伊沢陽一、Cello/薄井信介、Gut Guitar/菅又健のトリオが、昨年に引き続き松葉屋にやってきました。耳もこころも、いつのまにやらほぐれてあたたまる。空間のそこそこに充たされた音、靴音のような軽いテンポがここちよくて、「耳で聴いている」という意識からも解放してくれるような、なんともしあわせなステージでした。

Canto de rua

松葉屋家具店

〒380-0841 長野市大門町45
 zengorou@matubaya-kagu.com
 TEL026-232-2346
 FAX026-237-4558

(木曜定休)

© 松葉屋家具店 + 道具学研究所2008
 Copyright ©2008 Matsubayakaguten Co., Ltd.
 All rights reserved.
 Design & Text. * kai + pan

うつわ春や・Cafe HARUYA

前頁でもご紹介した軽井沢のうつわとカフェの「春や」さん。旧軽銀座近くの牧師館だった洋館を改装してお店にしています。並ぶうつわはどれも手仕事のもの。これらのうつわの手ざわりを楽しみながらいただく豊かなコーヒーは、ホント緊張感をほじめてくれました。他にもアツアツのホットサンドや抹茶ミルクにも思わず笑顔です。

〒389-0103
 北佐久郡軽井沢町軽井沢10-2
 TEL/FAX ■ 0267-42-5652
 営業時間 ■ 10:00~18:00(夏季は9:00~19:00)
 定休日 ■ 水曜日(8月は無休)

